

令和3年度 入退院調整ルールづくり支援事業 入退院調整状況調査結果報告(病院調査)

目 的

南和地域では、病院から在宅へのシームレスな移行にむけて、介護の必要な方が安心して入退院と在宅療養ができる環境づくりの一環として、平成31年2月に「入退院連携マニュアル」を作成、入退院連携ルールの運用が開始され、2年が経過した。

本調査は病院での入退院調整ルールの活用状況を把握し、病院における入退院時のケアマネジャー等との連携による効果を経年的に評価し、課題を把握することを目的に実施する。

概 要

方法

南和地域の4病院に対し、7月1日～31日の1か月の入院患者に対し、入退院調整ルール対象患者数を把握し、ルールに基づき、入院の連絡、入院時の情報提供、退院連絡等の実施状況を8月10日時点で調査。各病棟で実数把握し、地域医療連携室等で集計。その後、退院連絡状況を再度、電話で追跡調査を実施。

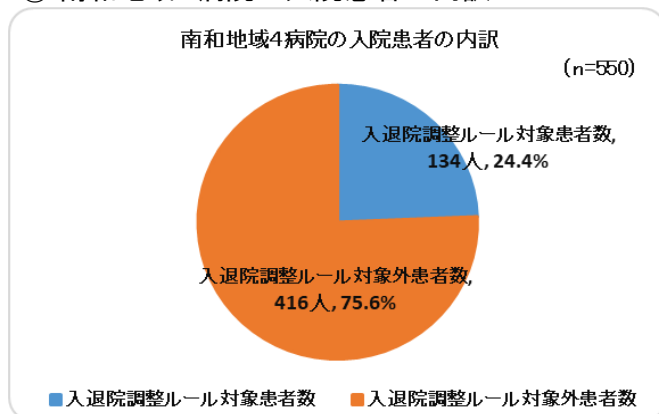
項 目	内 容
調査期間	令和3年7月1日～7月31日の1か月間
調査票回収期間	令和3年8月27日～10月2日
追跡調査	全ての患者が入院中でなくなった時点で退院連絡状況を電話で聴取
対象医療機関	南和地域4病院 南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター 南和広域医療企業団 五條病院 南和広域医療企業団 吉野病院 医療法人 弘仁会 南和病院 計 4病院
調査票回答者	病棟看護師、地域医療連携室看護師等
回答病院数 (回収率)	南和地域 4病院 (100%)

結 果

＜令和3年7月1日～7月31日の間に入院した患者について令和3年8月10日時点の状況＞

1. 入院患者の状況(7月の1か月間)

① 南和地域4病院の入院患者の内訳

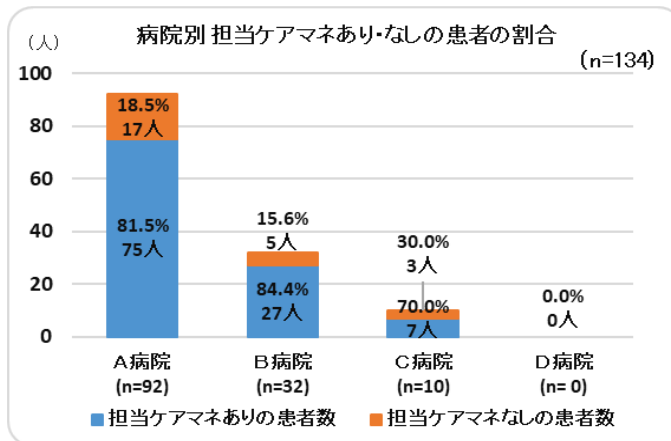
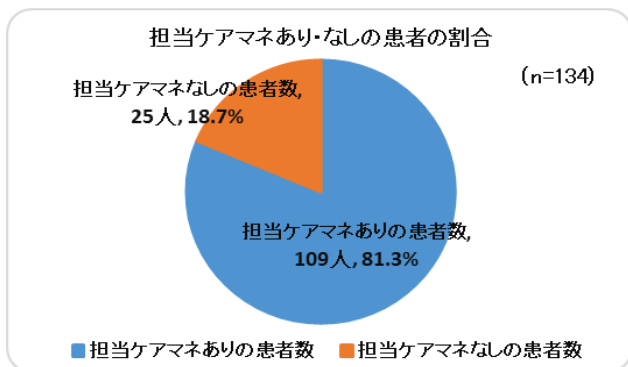


病院名	入院患者数 (7月) (人)	入退院調整 ルール対象 患者数 (人)	入退院調整 ルール対象 患者割合
A病院	437	92	21.1%
B病院	52	32	61.5%
C病院	47	10	21.3%
D病院	14	0	0.0%
計	550	134	24.4%

1ヶ月間の入院患者 550人のうち、入退院調整ルールの対象患者は 134人(24.4%)であった。

※12月調査：1ヶ月間の入院患者 593人のうち、入退院調整ルールの対象患者は 262人(44.2%)であった。

② 担当ケアマネあり・なしの患者の割合について

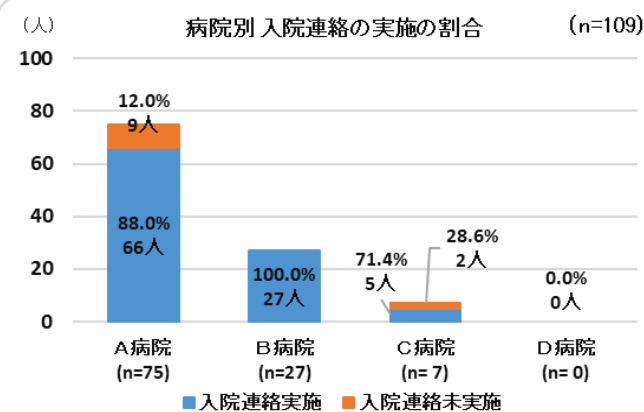
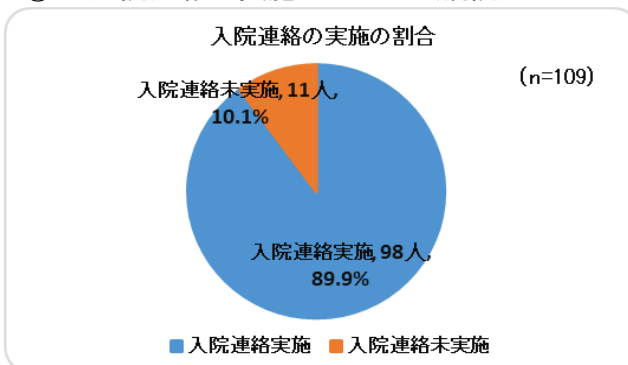


入退院調整ルールの対象患者 134人中、担当ケアマネありの患者が 109人(81.3%)、担当ケアマネなしの患者が 25人(18.7%)であった。

※12月調査：入退院調整ルールの対象患者 262人中、担当ケアマネありの患者が 139人(53.1%)、担当ケアマネなしの患者が 101人(38.5%)、担当ケアマネの有無不明が 22人(8.4%)であった。

2. 担当ケアマネありの状況

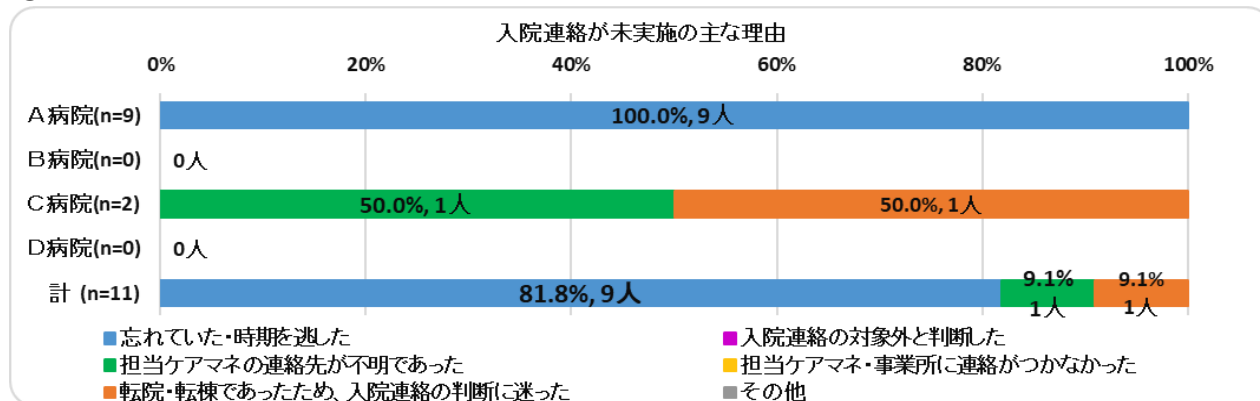
①-1 入院連絡の実施について (病院→ケアマネ)



病院から担当ケアマネへの入院連絡は 109人中 98人(89.9%)が実施できた。

※12月調査：病院から担当ケアマネへの入院連絡は 139人中 105人(75.5%)が実施できた。

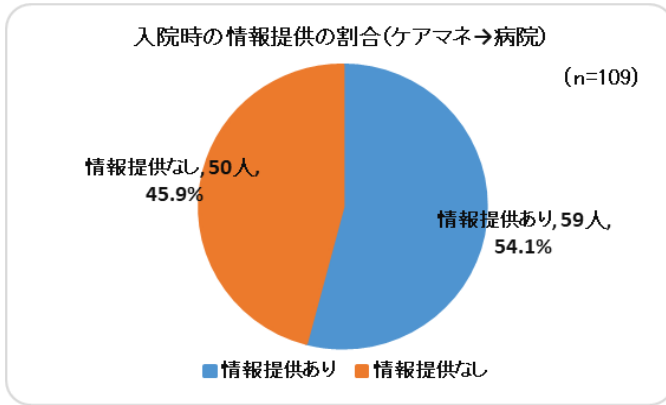
①-2 入院連絡が未実施の主な理由



入院連絡が未実施の主な理由は、「忘れていた・時期を逃した」が 11人中 9人(81.8%)と最も多く、次いで「担当ケアマネの連絡先が不明であった」・「転院・転棟であったため、入院連絡の判断に迷った」がそれぞれ 1人(9.1%)であった。

※12月調査：入院連絡が未実施の主な理由は、「忘れていた・時期を逃した」が 34人中 30人(88.2%)と最も多く、次いで「転院・転棟であったため、入院連絡の判断に迷った」が 4人(11.8%)であった。

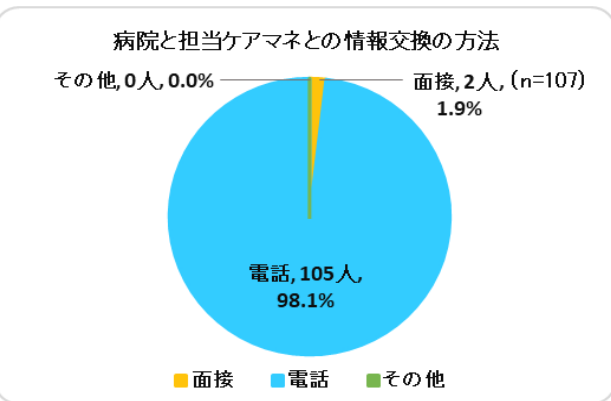
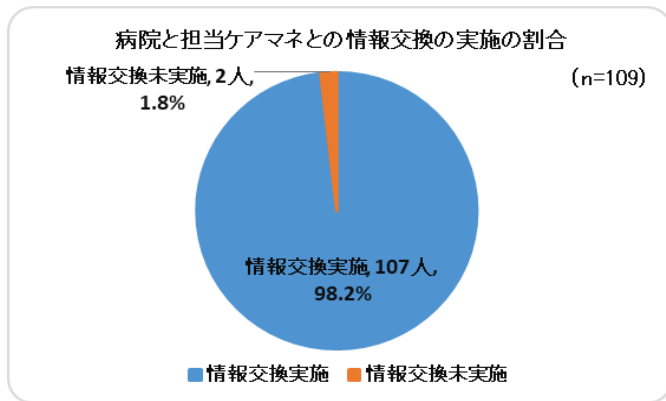
② 入院時の情報提供について（ケアマネ→病院）



入院時のケアマネから病院への情報提供書の提供は109人中 59人(54.1%)であった。

※12月調査：入院時のケアマネから病院への情報提供書の提供は 139人中 104人(74.8%)であった。

③ 病院と担当ケアマネとの情報交換の実施割合と、情報交換の方法について

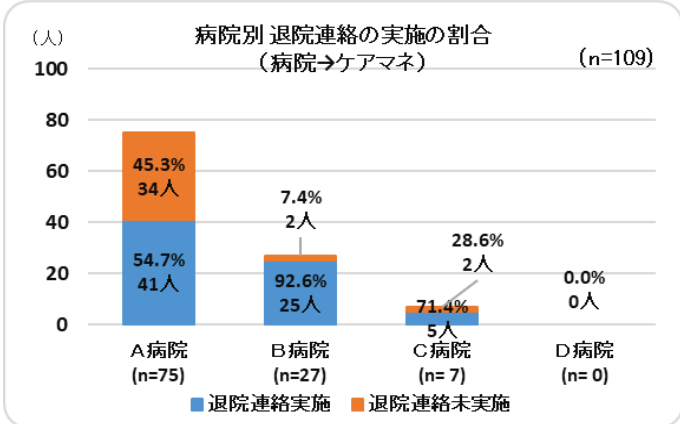
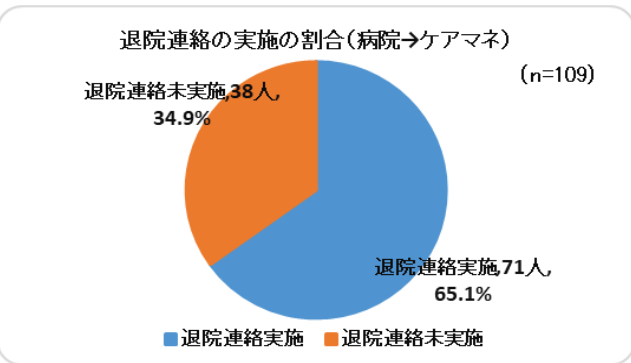


病院と担当ケアマネとの情報交換は 109人中 107人(98.2%)が実施できた。

また、病院と担当ケアマネとの情報交換の方法については、「電話」が 105人(98.1%)で最も多く、次いで「面接」が 2人(1.9%)であった。

※12月調査：病院と担当ケアマネとの情報交換は 139人中 104人(74.8%)が実施できた。また、情報交換の方法については「電話」が 102人(98.1%)で最も多く、「面接」と「その他」はそれぞれ 1人(1.0%)であった。

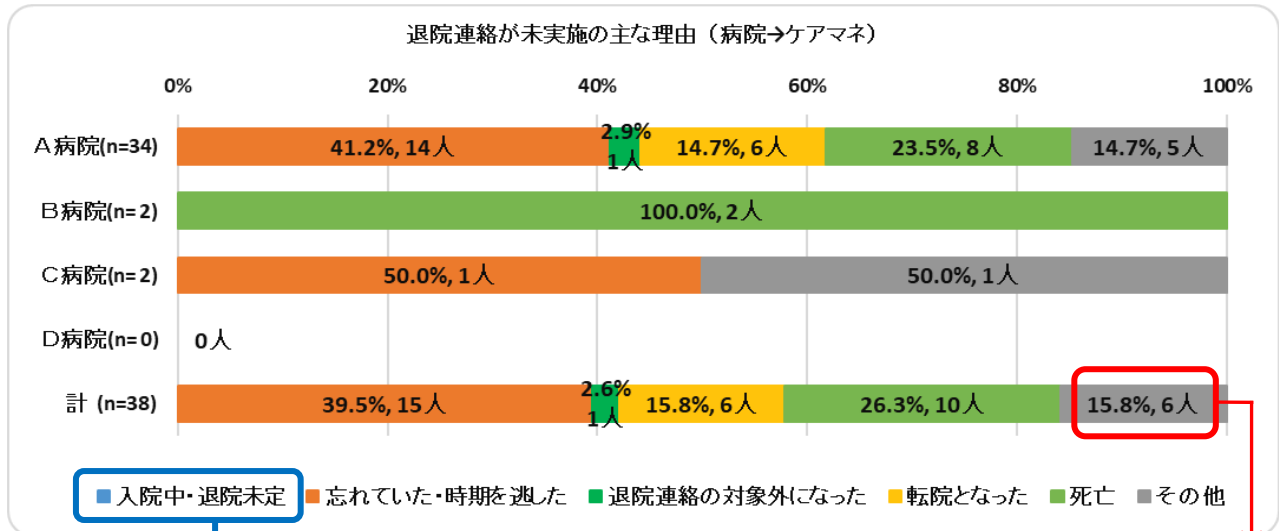
④-1 退院連絡の実施について（病院→ケアマネ）



病院から担当ケアマネへの退院連絡は 109人中 71人(65.1%)が実施できた。

※12月調査：病院から担当ケアマネへの退院連絡は 139人中 74人(53.2%)が実施できた。

④-2 退院連絡が未実施の主な理由（病院→ケアマネ）



全ての患者が入院中でなくなった時点で追跡調査を実施

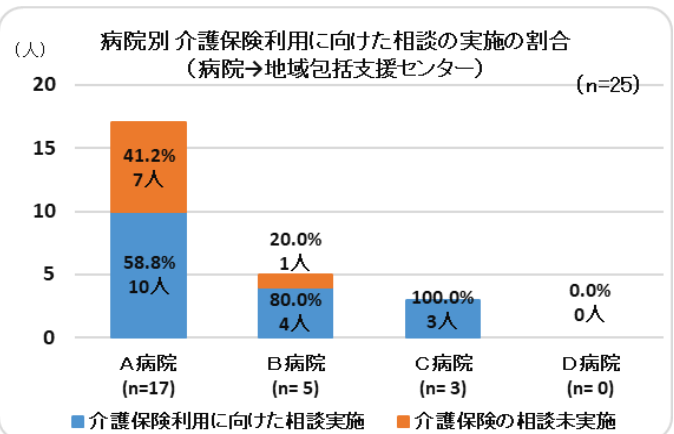
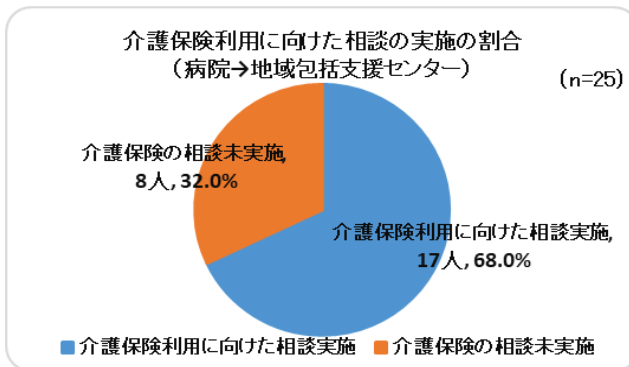
〈具体的内容〉訪問看護へ連絡、施設へ連絡、退院と共に転居（5人）療養病棟に転棟（1人）

病院から担当ケアマネへの退院連絡が未実施の主な理由には、「忘れていた・時期を逃した」が38人中15人(39.5%)と最も多く、次いで「死亡」10人(26.3%)、「転院となった」・「その他」がそれぞれ6人(15.8%)、「退院連絡の対象外になった」1人(2.6%)であった。

※12月調査：病院から担当ケアマネへの退院連絡が未実施の主な理由には、「入院中・退院未定」が21人中20人(95.2%)と最も多く、次いで「忘れていた・時期を逃した」が1人(4.8%)であった。

3. 担当ケアマネなしの状況

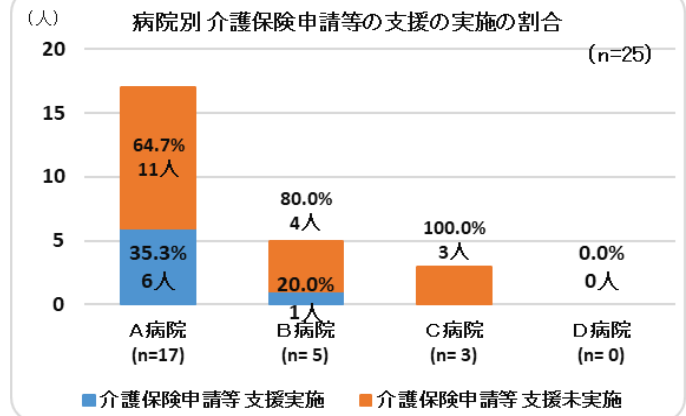
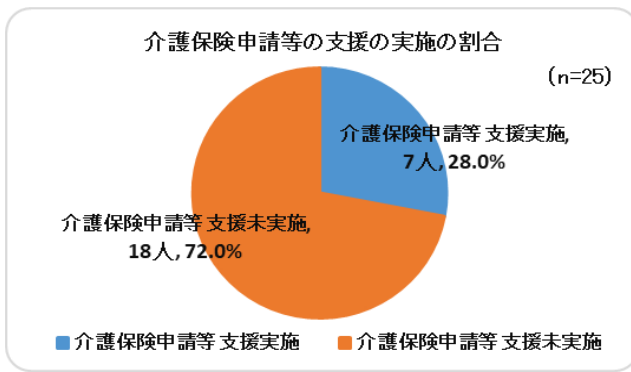
① 介護保険利用に向けた相談の実施について（病院→地域包括支援センター）



病院から地域包括支援センターへの介護保険利用に向けた相談は25人中17人(68.0%)が実施できた。

※12月調査：病院から地域包括支援センターへの介護保険利用に向けた相談は101人中9人(8.9%)が実施できた。

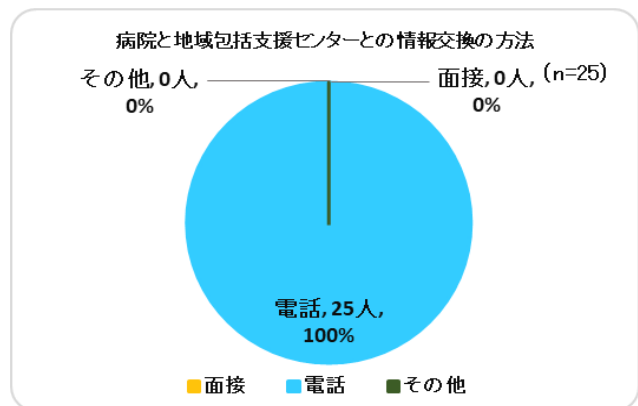
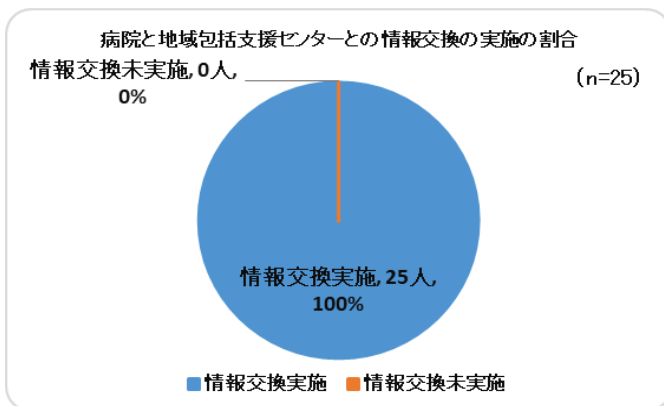
② 介護保険申請等の支援の実施について



介護保険申請等の支援は 25人中 7人(28.0%)が実施できた。

※12月調査: 介護保険申請等の支援は 101人中 19人(18.8%)が実施できた。

③ 病院と地域包括支援センターとの情報交換の実施割合と、情報交換の方法について



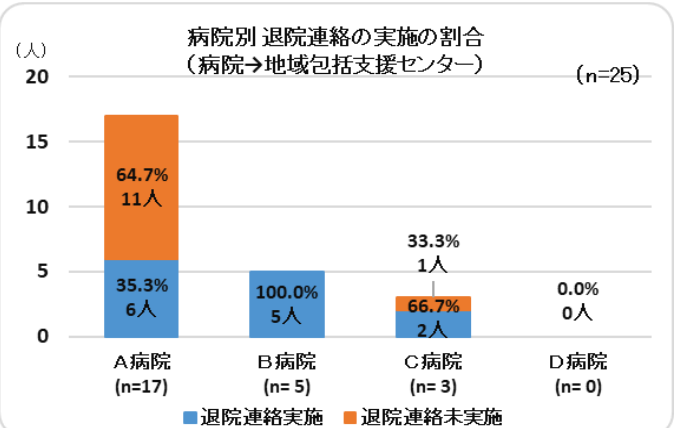
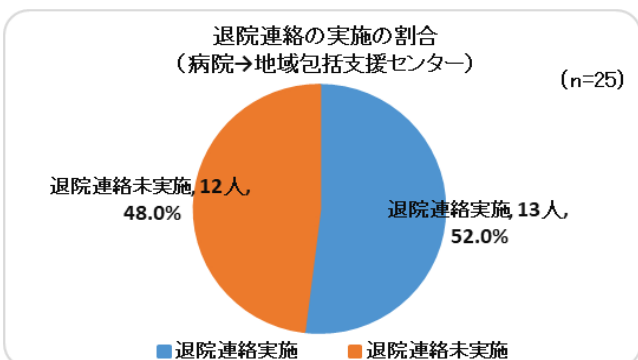
病院と地域包括支援センターとの情報交換は 25人全て(100%)が実施できた。

また、病院と地域包括支援センターとの情報交換の方法については 25人全て(100%)が「電話」であった。

※12月調査: 病院と地域包括支援センターとの情報交換は 101人中 25人(24.8%)が実施できた。

また、情報交換の方法については 25人全て(100%)が「電話」であった。

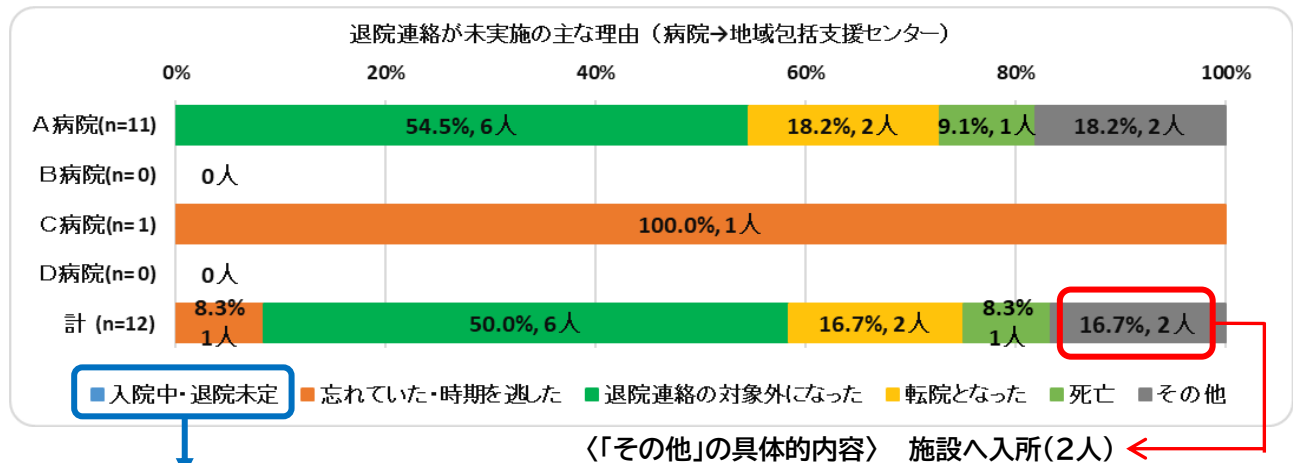
④-1 退院連絡の実施について (病院→地域包括支援センター)



病院から地域包括支援センターへの退院連絡は 25人中 13人(52.0%)が実施できた。

※12月調査: 病院から地域包括支援センターへの退院連絡は 101人中 30人(29.7%)が実施できた。

④-2 退院連絡が未実施の主な理由（病院→地域包括支援センター）



全ての患者が入院中でなくなった時点で追跡調査を実施

病院から地域包括支援センターへの退院連絡が未実施の主な理由には、「退院連絡の対象外になった」が12人中6人(50.0%)と最も多く、次いで「転院となった」・「その他」がそれぞれ2人(16.7%)、「忘れていた・時期を逃した」・「死亡」がそれぞれ1人(8.3%)であった。

※12月調査：退院連絡が未実施の主な理由には、「入院中・退院未定」が5人中4人(80.0%)で、次いで「その他」が1人(20.0%)であった。

4. 自由記述

① 他圏域との入退院調整で困ったこと・連携がとりにくいと感じたことがあればご記入下さい。

- ・他地域ではありませんが、入院時、ケアマネの事業所や担当者名がわからない事例が緊急入院時に多く(家人も把握していない・本人とは意思疎通困難など)、困ることが散見される。薬手帳や保険証に名刺を貼ったりするなど、容易にわかる工夫をしてもらえるとうれしい。またどこを見ればよいなど情報としても病院へお知らせいただくと良い。
- ・忙しいので仕方ないですが、担当者が不在の事が多く直接話せないことが多いです。□
- ・地域包括支援センターへの連絡が必要な場合は、カルテや地域連携室担当者に確認して連絡しています。□
- ・患者さんが初めて介護サービスを使用時、地域包括支援センターや市役所等から調整してもらい、ケアマネへ連絡が□いくように申し送ってもらったことがありました。
- ・認定調査が退院後でないといけない地域もあり、入院中のサービス調整が困難なことがありました。
- ・コロナ対策で面会が出来ないため、患者の様子が伝えにくかった。
- ・書面でのやり取りが増えると煩雑になってしまう。

② 地域包括支援センターの担当者に質問したいこと等があれば、病院連絡会の参考にさせていただきますので、お聞かせ下さい。

- ・退院調整が必要と判断し、介護認定を依頼しても退院してからでないと対応できないと返答される地域がある。結果として入院が長引き患者の不利益になるので、入院中であっても相談があれば速やかに対応して欲しい。
- ・以前も質問させていただき、両方に連絡が必要と聞いてはいるのですが、転院患者の場合、現状は前施設から連絡している場合も当院からの連絡しています。転院の連絡が重なると思うのですが、両方必要ですか。状況が変わった場合のみ連絡ではダメでしょうか。
- ・連絡させていただいた時に担当看護師と今後の方向性以外に必要な情報は何でしょうか。
- ・介護申請の申請中に自宅退院となった時、患者さんの状況にもよりますが支援してもらえるもの(福祉用具等も)、もしわかれば費用も教えてほしいです。
- ・介護保険未申請の方も五條病院は入院時連絡しているが、その情報はどのように活用されているのでしょうか。入院時はまだ介護認定の申請をするか決まっていない状況での連絡は必要でしょうか。

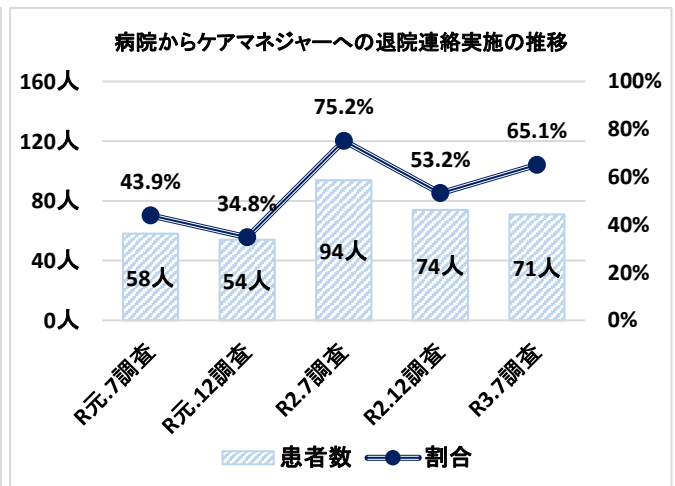
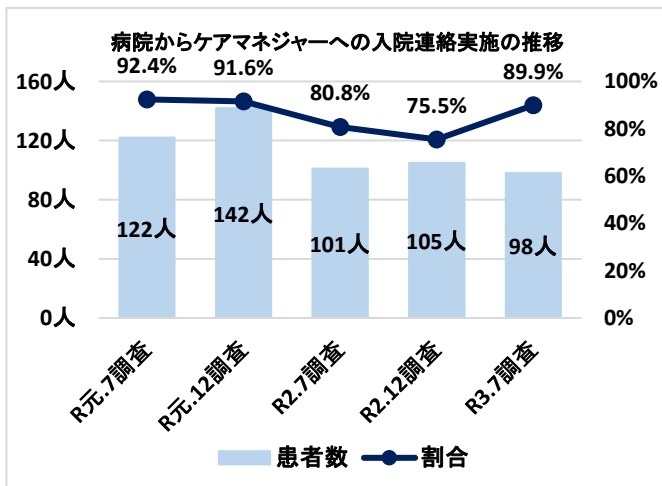
5. まとめ

- ・1ヶ月間の入院患者のうち入退院調整ルール対象患者は、24.4%であった。
- ・病院からケアマネジャーへの入院連絡実施率は、調査時期によりバラツキがあるが、平均して80%以上連絡出来ている。
- ・病院からケアマネへの入院連絡が未実施の主な理由はこれまでの調査と同様に「忘れていた・時期を逃した」が最も多かった。また、「担当ケアマネの連絡先が不明であった」ケースもあり、自由記載でも「入院時に事業所・担当者名が分からない」という意見があり、担当ケアマネに連絡が取れるような対策が必要である
- ・病院からケアマネへの退院連絡が未実施の理由は、今までの調査では「入院中・退院未定」が最も多かったため、7月中に入院したルール対象患者が全て退院した時点で再度調査を実施した。その結果、未実施の理由は「忘れていた・時期を逃した」が39.5%と最も多かったが、「死亡」や「転院となった」ケースも多かった。
- ・退院連絡が未実施の理由は「忘れていた・時期を逃した」が最も多く、時期を逃さず、確実に連絡を実施するための対策の検討が必要である。
- ・退院連絡が未実施の患者について追跡調査を実施したことにより、前回調査よりも退院連絡実施率が増加していると考えられる。また、今回の追跡調査により全ての退院患者において約6割がケアマネへ退院連絡が実施されている事が分かった。
- ・病院から地域包括支援センターへの介護保険利用に向けた相談は68.0%であり、調査開始後より最も高くなっている。2病院で病院連絡会を開催し、地域包括支援センターへ連絡が取りやすくなる良い影響となったと考えられる。
- ・病院から地域包括支援センターへの退院連絡が未実施の主な理由は、今までの調査では「入院中・退院未定」が最も多かったが、ルール対象患者が全て退院した時点で再度調査を実施し、「退院連絡の対象外になった」ケースが50.0%と最も多くなった。地域包括支援センターへ入院連絡している対象者では、退院時にはルール対象外となっていることが分かった。
- ・病院から地域包括支援センターへの退院連絡実施率は52.0%であり、退院連絡が未実施の患者について追跡調査を実施したことにより増加したと考えられるが、病院連絡会の開催により、地域包括支援センター担当者との顔が見える関係となり、連絡が取りやすくなる一助となったと考えられる。

担当ケアマネがいる患者の 入退院調整状況	令和元年 7月調査	令和元年 12月調査	令和2年 7月調査	令和2年 12月調査	令和3年 7月調査
病院からケアマネジャーへの 入院連絡実施状況	122人 92.4%	142人 91.6%	101人 80.8%	105人 75.5%	98人 89.9%
病院からケアマネジャーへの 退院連絡実施状況	58人 43.9%	54人 34.8%	94人 75.2%	74人 53.2%	71人 65.1%

担当ケアマネがない患者の 入退院調整状況	令和元年 7月調査	令和元年 12月調査	令和2年 7月調査	令和2年 12月調査	令和3年 7月調査
病院から地域包括支援センターへの 介護保険利用に向けた相談の実施状況	48人 52.7%	29人 41.4%	18人 14.9%	9人 8.9%	17人 68.0%
病院から地域包括支援センターへの 退院連絡実施状況	19人 20.9%	18人 25.7%	34人 28.1%	30人 29.7%	13人 52.0%

(担当ケアマネがいる患者の入退院調整状況)



(担当ケアマネがない患者の入退院調整状況)

